

CoreS3 OpenAI ボイスアシスタント

ケース説明

このチュートリアルでは [CoreS3](#) メインコントローラーを使用し、M5Burner で OpenAI Voice Assistant ファームウェアを書き込み、パーソナルボイスアシスタントアプリケーションを構築します。



1. 準備作業

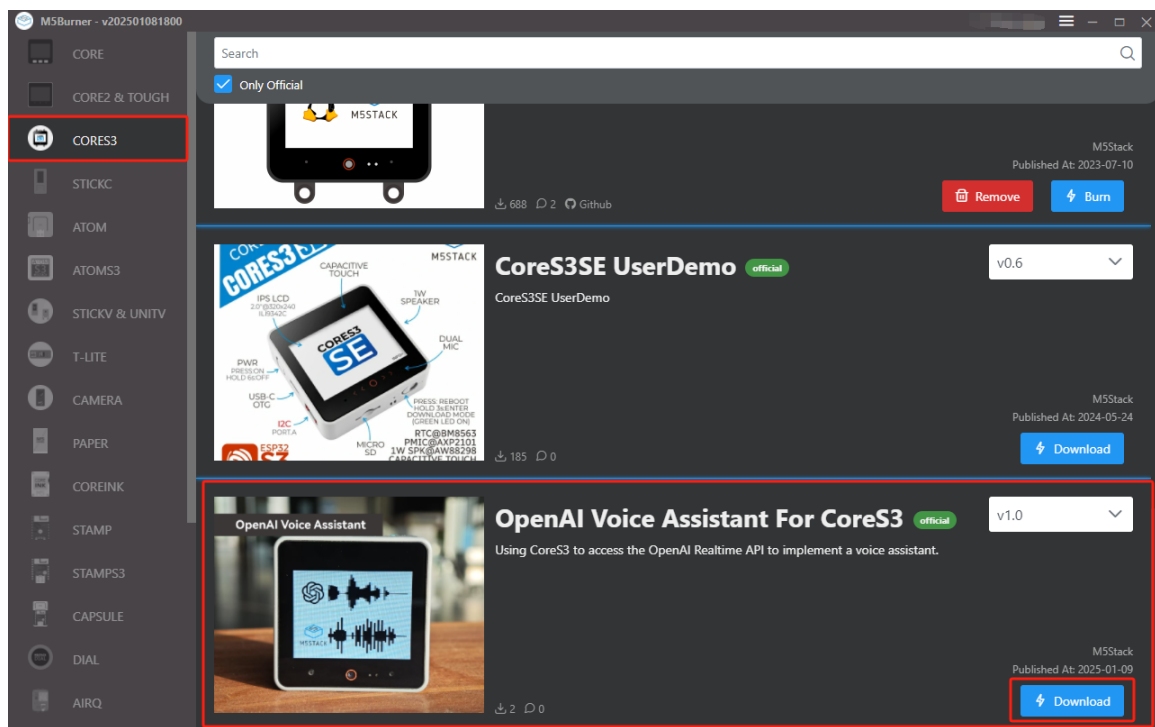
1. ご使用のオペレーティングシステムに応じて、下記のボタンをクリックして該当する M5Burner ファームウェア書き込みツールをダウンロードしてください。解凍し、アプリケーションを開きます。

ソフトウェアバージョン	ダウンロードリンク
M5Burner_Windows	ダウンロード
M5Burner_MacOS	ダウンロード
M5Burner_Linux	ダウンロード

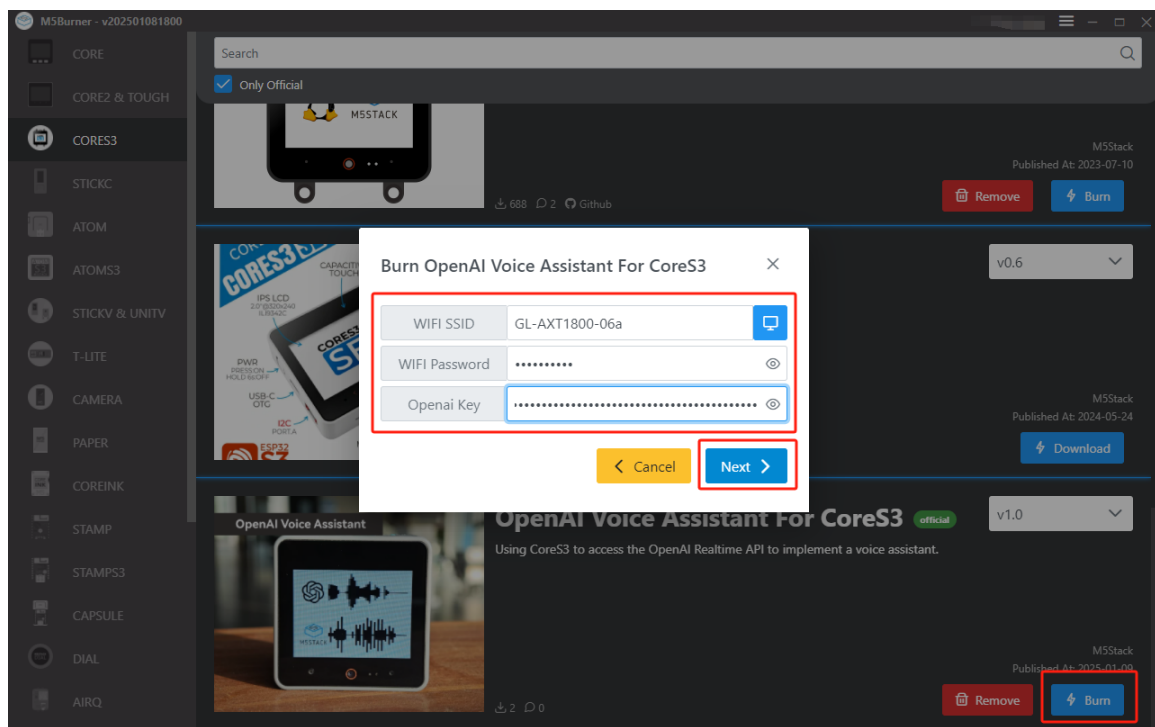
2. [OpenAI](#) にアクセスして登録およびログインを行い、OpenAI Realtime API の料金内容を確認し、コンソールで [API keys](#) を作成・取得します。

2. ファームウェア書き込み

1. Burner 書き込みツールをダブルクリックで開き、左側メニューから対応するデバイスタイプ [CoreS3](#) を選択し、[OpenAI Voice Assistant For CoreS3](#) ファームウェアをクリックしてダウンロードします。



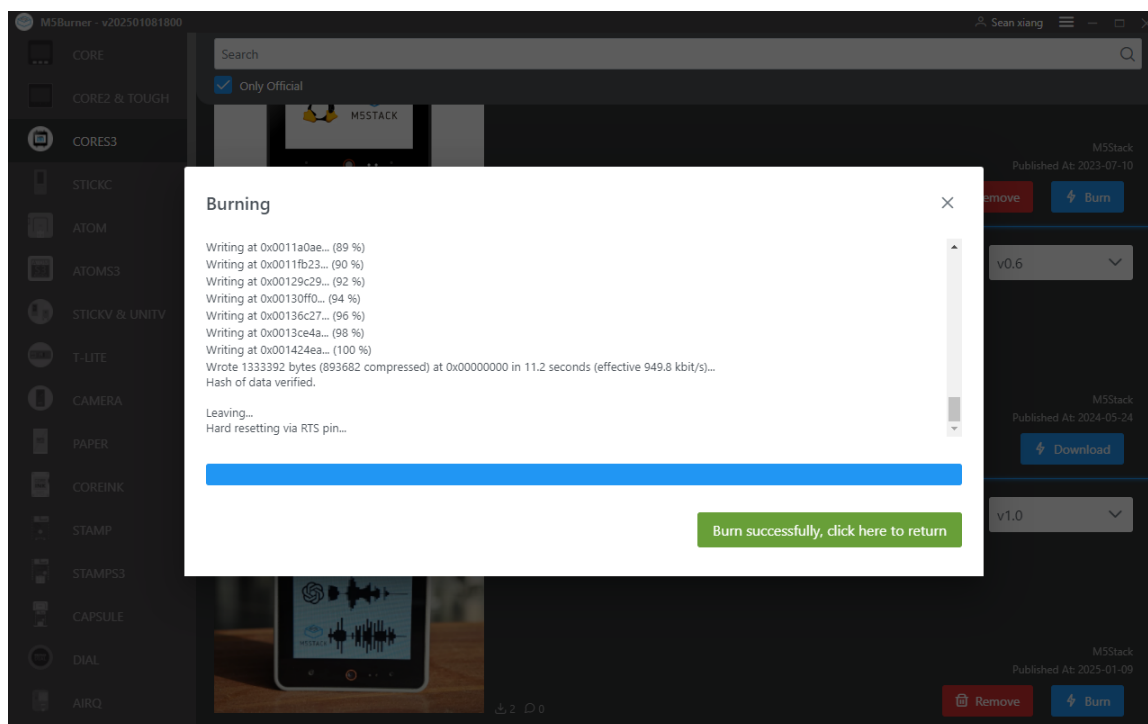
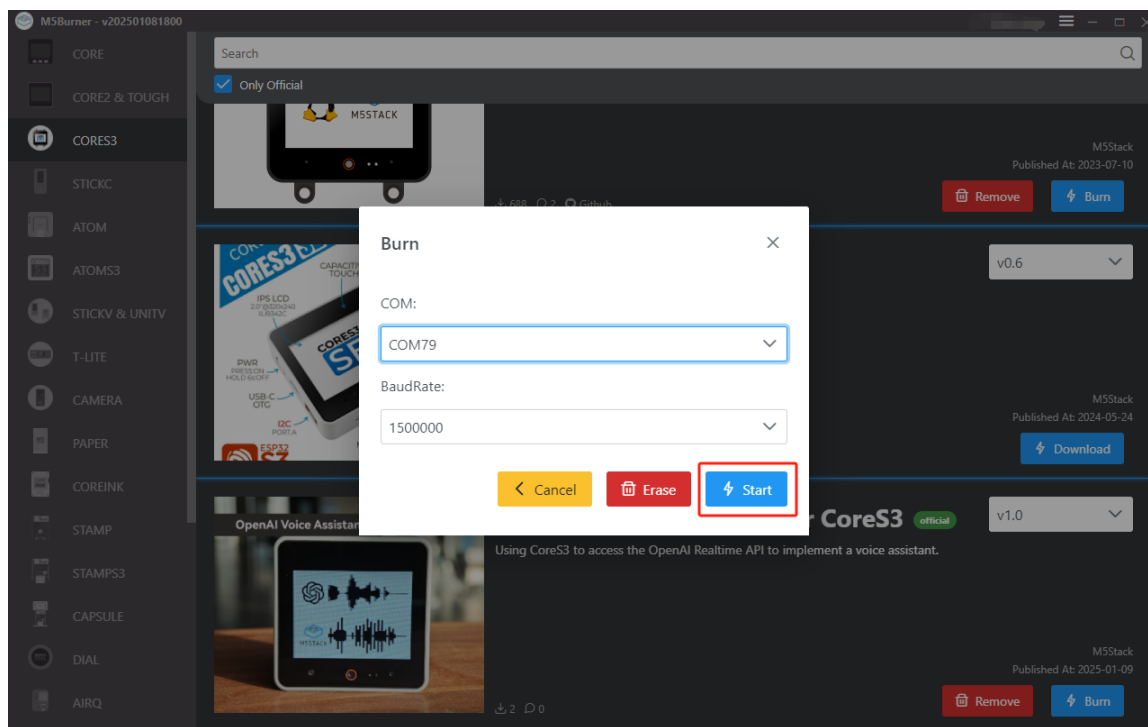
- 2. **Burn** をクリックし、表示される指示に従って Wi-Fi 接続情報と OpenAI API keys を入力します。



- 3. デバイスを USB 接続後、リセットボタンを約 2 秒間長押しします。内部の緑色 LED ライトが点灯したらボタンを離します。この時点でデバイスはダウンロードモードに入り、書き込み待機状態になります。ボタンを離すと緑色 LED が消灯し、デバイスがダウンロードモードに入ったことを確認できます。



- 。 4. デバイスに対応するポートを選択します。 [Burn](#) をクリックし、書き込みが完了するまで待ちます。



よくある質問:

中国本土では OpenAI Realtime API に正常にアクセスできない場合があります。デバイスがサービスに接続できない場合は、プロキシ経由またはネットワーク環境の変更をお試しください。

3. 使用開始

デバイスが起動し、画面に音声サンプリングカーブが表示されたらサービスに接続完了となり、音声対話を開始できます。

Ready

